

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2006年4月10日

No 220

1部100円

発行者ELIC編集委員会中山森夫
108-0073 東京都港区三田3-2-20
Tel (03) 3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

06春闘

電機で5年ぶり500円の賃上げ

元気の出る労働組合運動へ力を合わせよう

06春闘は3月15日に金属労協(I MF・J C)の大手労組に会社側が一斉に回答を行い、自動車、電機大手でベアが復活しました。

トヨタが要求満額となる1000円の回答、日産自動車も満額となる一方で、鉄鋼、造船重機では賃上げ額が明示されず継続協議になるなど、業種間での差が生まれました。また、電機大手でも富士通が1000円、それ以外が500円となるなど、同業種間でも横並びが崩れました。さらに、この500円の中身でもばらつきが生まれています。(2面に一覧表と解説)

電機の職場では、「要求の2000円が低かった」「それにしても要求の25%とは情けない」など不満が広がっています。一時金では自動車との差がさらに拡大しました。

今春闘をめぐる情勢は、賃上げの絶好のチャンスでした。電機各

社の業績は連続最高益となる企業も多く、技術部門などでは人手不足が指摘されていました。

しかし、賃上げ要求を放棄した4年間で職場も労働者の状態も大きく変わりました。賃金制度も成果主義の導入で企業の意のままに改悪されてきました。職場では日常的にリストラ人員削減が進められています。役に立たない労組への信頼はさらに失われました。こうした事態を作るスタートとなったのが賃上げ要求放棄でした。

今回5年ぶりに賃金要求を出し、わずか500円とはいえ賃金引上げを勝ち取りました。この「成果」を組合運動再生につなげる為に、力

を合わせたいものです。

メーデーに行こう!



第77回メーデーは、5月1日11時から東京代々木公園など全国の会場で開催されます。

「憲法改悪反対」「増税・社会保障改悪反対」など広範な要求を掲げた総決起の場です。

電機の職場から多数の皆さんの参加をお願い致します。



今月号の紙面

- ①06春闘で5年ぶりのベア
- ②③電機の06春闘結果
- ④電機9条の会発足へ
- ⑤東西南北、NEC懇総会
- ⑥ホームページ④東芝
- ⑦電機ユニオン、企業動向
- ⑧IBM集会へ、集積回路

愛知県・香嵐溪に群生するカタクリ (3/25) 撮影：黍原和雄